

商品名

型式

空気加熱用配管インラインヒーター SAT型

説明

配管ライン途中で流れる空気・ガスを加熱するインラインヒーター

特長

JIS規格フランジに接続するだけで、気体の流路を変えることなく直接加熱することができ、最大 10m³/min まで流すことができます。既設の配管へ容易に組み込めるため、別途配管ラインを新設する必要が無く、プラント施設の追加熱源として使用できます。屋外でも使用可能です。

用途

空気加熱・窒素ガス加熱・水素ガス加熱・オゾン加熱・蒸気加熱、混合ガス加熱等、用途の多いヒーターです。

仕様

- 1.使用場所：屋内・屋外共通
- 2.電 源：3相 200V
- 3.温 度：出口温度 150°Cを超える場合は特注品となります。
- 4.接 続：JIS5K150A ※JIS10K 等異なる呼び圧力やサイズ違いも対応可能です。
- 5.圧 力：フランジの JIS 規格による
- 6.制 御：温度過昇防止センサー付 (K 熱電対)
- 7.材 質：ヒーターエレメント SUS316L φ9 ケーシング SUS304
- 8.最大流量：10m³/min
- 9.最小流量：型番表参照
- 10.質 量：28kg

図面

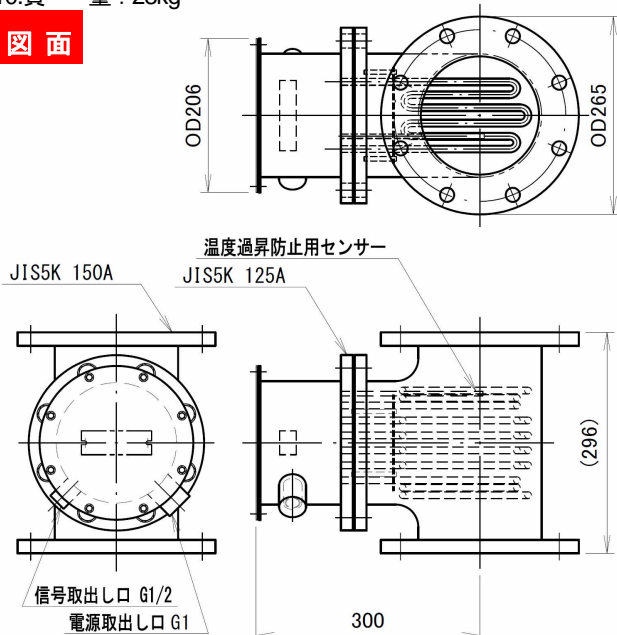


図1 空気加熱用配管インラインヒーター

種類

表1 型番表

型番	電圧 (V)	相数	容量 (kW)	ワット密度 (W/cm ²)	最小流量 (m ³ /min)	※最高上昇温度 (Δt°C)
SATL15-32	200	3相	2	1.2	0.5	150
SATL15-33			3	1.8	1.0	115
SATL15-34			4	2.4	1.5	100
SATL15-35			5	3.0	2.0	95

※最高上昇温度は最小流量の時の値です。(安全率1.25倍)
注：出口温度 150°Cを超える場合は特注品となります。
上記仕様以外でも製作できます。

空気加熱ヒーター取扱上の注意をお読みください。

写真



写真1 空気加熱用配管インラインヒーター

斜視図

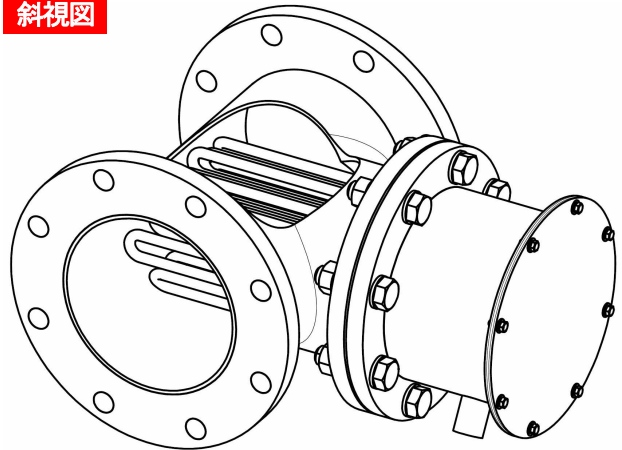


図2 空気加熱用配管インラインヒーター

特注品

- 1.記載されている電圧・相数以外でも製作できます。その他、大容量のヒーターや接続違いのフランジも設計・製作できます。詳細仕様をご確認ください。
- 2.標準品の出口温度は最高 150°Cです。150°Cを超えてご使用の場合はご相談ください。
- 3.流体の初期温度と外気温度の差および湿度により、結露が生じる恐れのある場合は、ターミナルボックス内の一部にシリコン充填する等の結露対策を行いますのでご連絡ください。

別売品

パッキン：空気用 [T#1995]
フランジ付レジューサー：
JIS5K150A フランジから任意の配管フランジへ変換して異なるサイズでもご使用頂けます。

流量・温度・容量関係図

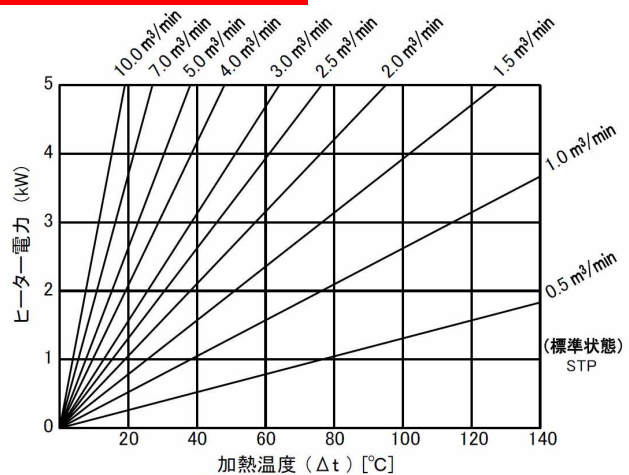
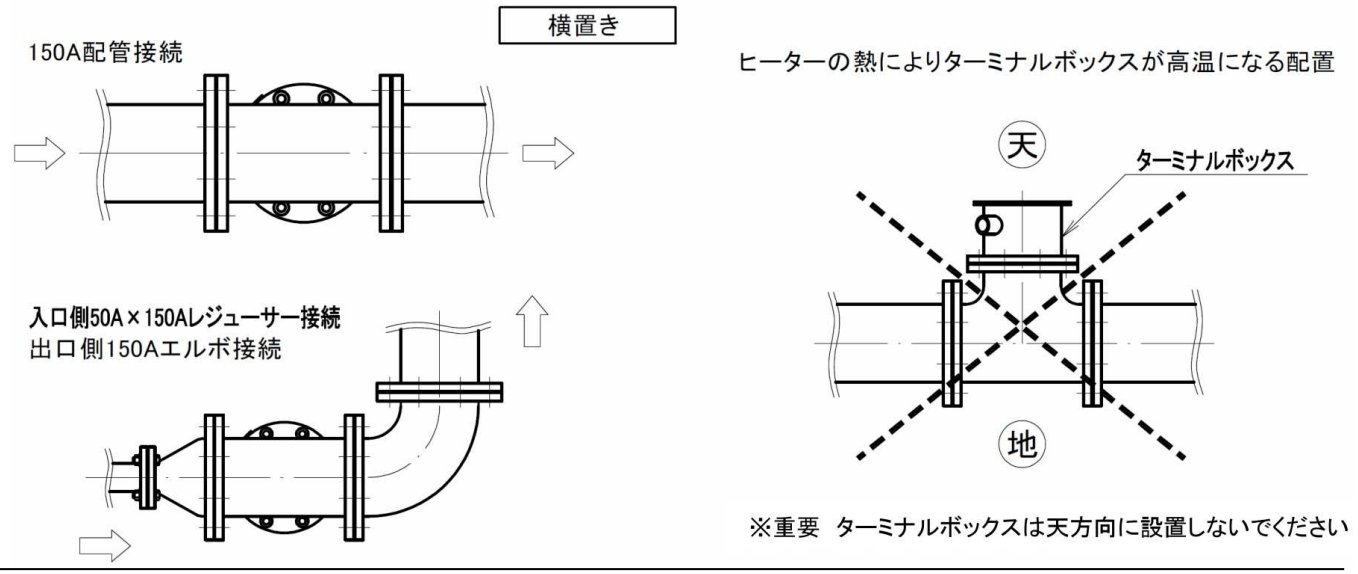
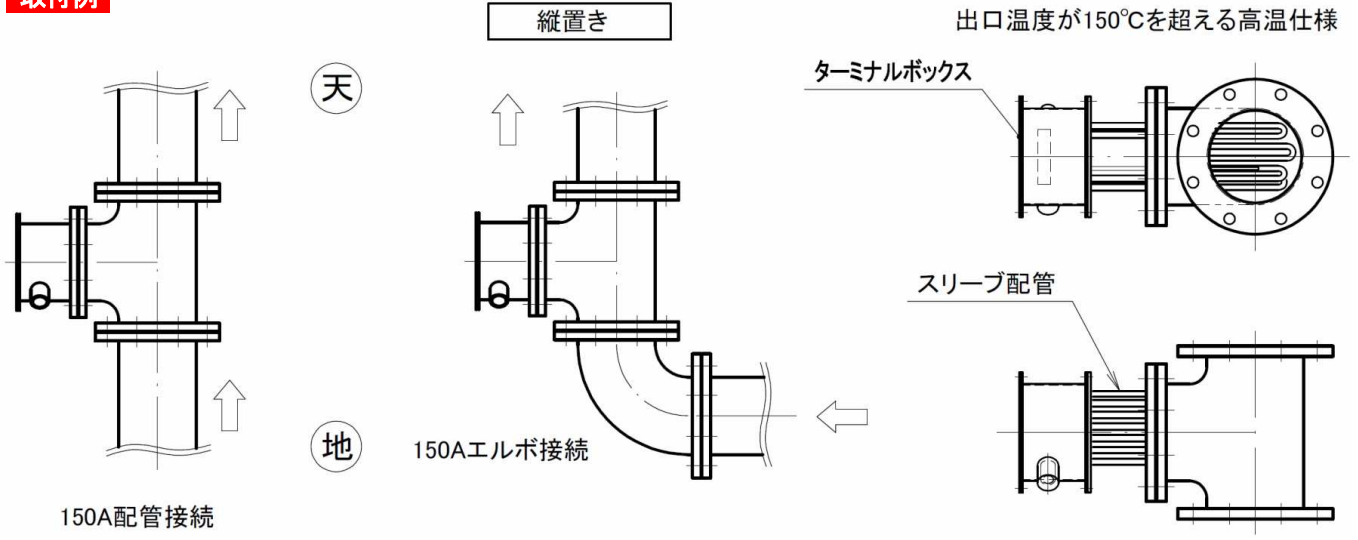


図3 流量・温度・容量関係図

取付例

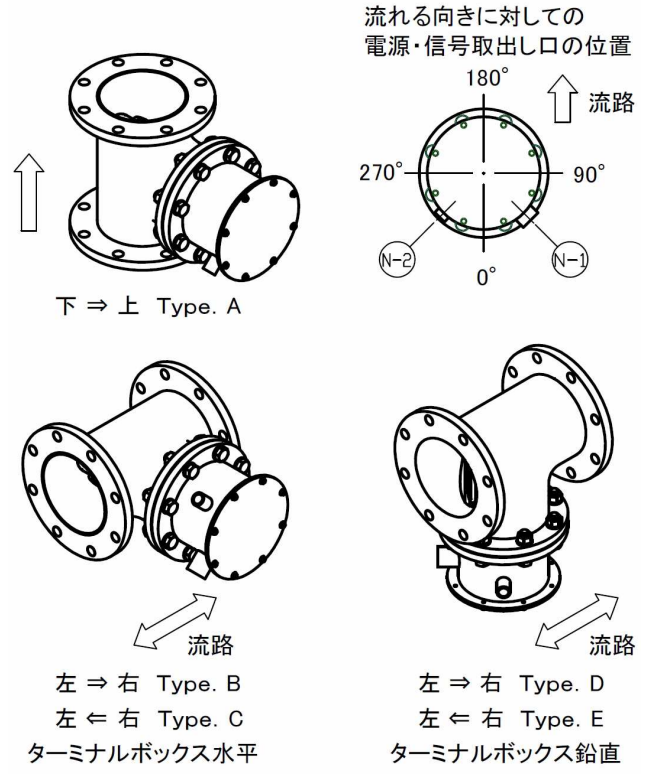


型番説明

SATL15-35 -A1

- 電源・信号取出口の向き
- 1 : 0° 2 : 90°
- 3 : 180° 4 : 270°
- A : 縦置き Type.A
- B : 横置き Type.B
- C : 横置き Type.C
- D : 横置き Type.D
- E : 横置き Type.E
- 5 : 容量 5kW
- 3 : 3相 200V 2 : 単相 200V
- 15 : 150A
- L : JIS5K H : JIS10K
- SAT : 空気加熱用配管インラインヒーター

流れの方向



注意

1. IN・OUTの向きを間違えずに接続してください。
2. 送風機ONでヒーターONとなるインターロック回路を設けてください。
3. ヒーターOFF直後はヒーターが高温となっています。10分間は送風機ONとする遅延タイマーを設けてください。
4. ターミナルボックスが天方向にならないよう、取り付けてください。
5. 温度コントロール用のセンサー、サーモスタット等は、取り付けできません。
6. 最小風量以上の送風で運転してください（最小風量はヒーターの容量によって異なります）。

空気加熱ヒーター取扱上の注意をお読みください